

## 真っ赤な大観覧車が楽しさのシンボル。 エンターテインメント・ショッピングセンター **HEP FIVE**

オープンから一周年を迎え、若者たちのニューカルチャー発信の地として今やすっかり定番の都市型としては最大級のショッピングセンター「HEP FIVE」。

その類い稀な空間演出は、訪れる人に心地よさと楽しさを与えてくれます。

そこで今回は、ショップあり、大観覧車あり、イベントホールありで、全館にわたってエンターテインメント性を追求した、大阪・梅田の新名所「HEP FIVE」の魅力をレポートします。

レポーター

奥出 麗



### 大胆かつ遊び心に満ちた、ユニークな空間演出

昨年秋にリニューアル・オープンした「HEP FIVE」。ここは、旧阪急ファイブと旧梅田コマ劇場の跡地に建てられた、都市型としては最大級のショッピングセンターです。世界でも初の試みと言われる建物と一体になった大観覧車はつとに有名ですが、館内にも大胆かつ遊び心に満ちた工夫が、いっぱい詰め込まれています。

まず、目を引くのが、ガラスをふんだんに使った近未来的なエントランス。光りを取込んで、とても明るく、爽やかな印象を受けます。さらに中に入ると、驚くべきことに、なんと真っ赤な巨大クジラのオブジェが、エントランスアトリウムで宙に浮かんでいるのです。全長20メートルの巨大クジラは、1階



1階エントランスの巨大クジラオブジェ

～6階の吹き抜けを悠々とまるで海の中を泳いでいるみたい。できることならクジラの上に乗ってみたい。このファンタジックな空間演出は、元米米クラブのメインボーカリスト・石井竜也氏が手掛けられたそうです。

インパクトのあるお出迎えの次は、いよいよ、館内ウォッチングへ。メタリックなブリッジや、ダブルクロスエスカレーターなど、デザイン性を追求した設備は、見ているだけで楽しくなります。

そして、ウィンドーショッピングが大好きな私は、国内・海外の有名ブランドや、大阪初登場のブランドが取り揃えられている「ファッションフロア」を一巡り。流行を先取りした個性的なショップの数々に、思わず衝動買いをしそうになりました。



立体交差のエスカレーター

### 都心から大阪を一望できる、真っ赤な大観覧車

関東出身の私が、今回、特に楽しみにしていたのが、あの大観覧車に乗って、大阪の街を一望することでした。1周約15分、4人乗りのゴンドラの中は、冷暖房完備なのでとても快適。最上部からは、大阪湾を望むことができました。関係者の方によると、天気の良い日などは、明石海峡大橋も見えるというお話しでした。もちろん、夜景も最高に美しいとのことなので、今度は、夜に大観覧車に乗ってみようと思います。

また、夜間のもう一つの特長として、大観覧車のライトアップが挙げられます。波紋のように光りの

粒が広がる様を、ストロボライトによって表現する光りの演出は、エネルギーに満ちあふれ、なおかつ幻想的。梅田の街を行き交う人々の心を潤すかのように、街をやさしく包んでいます。

### 21世紀型のショッピングセンター

昭和46年から、若者のためのショッピングセンターとして永く愛されてきた旧阪急ファイブを前身に、今また梅田のトレンディ・スポットとして新しく生まれ変わった「HEP FIVE」。エンターテインメント性を追求したその画期的な演出は、旧阪急ファイブの頃のお客様からの声を反映している部分もあるそうです。例えばあの大観覧車は、お客様アンケートで「梅田に遊園地があると嬉しい」という意見を参考にされたとか。細部に渡って時代のニーズに対応した館内は、若者たちの熱気にあふれていました。

ビジネスの中心地として、また文化やファッションの発信地として変遷を遂げていく梅田界隈で一際輝く「HEP FIVE」は、伝統と革新をうまくミックスさせた21世紀型のショッピングセンターと言えるのではないのでしょうか。

●交通：「HEP FIVE」へは、阪急、阪神、地下鉄「梅田」駅、JR「大阪」駅下車すぐ。

